

“新年に思う”

石原靖造

今年も宜しくお願い致します。

新年早々大きな地震や事故があり、その後の惨状は今尚目を覆うばかりで、さぞ皆さんも心を痛めて居られる事とお察しします。皆さんのご親戚や知人・友人の方が居られるやも知れず、心からお見舞いを申し上げます。

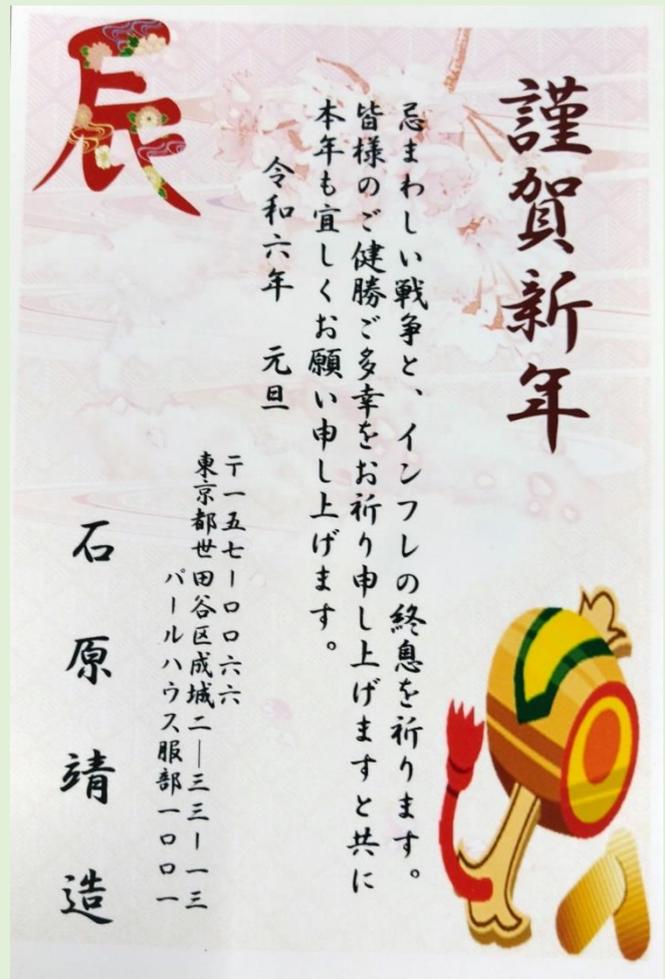
毎年新年を迎える毎に一年を早く感じるのですが、皆さんは如何でしょうか？
フランス哲学者のポール・ジャネの法則と言うのが有る様です。つまり“生涯のある時期における時間の心理的な長さは、年齢に反比例する”と言うものです。
20歳での一年は人生の1/20ですが、89歳では1/89に過ぎず、だから短く感じるのだと言う訳の分かった様な 分からない様な話ですが、さて皆さんは如何感じて居られるでしょうか？

世の中北陸の惨状に沈んでいる時にゴルフの話、それも前回 ZOOM 会で少し触れたことで申し訳ありませんが、これしかありませんのでどうかご容赦下さい。

昭和53年(1978年)に発足した私のゴルフ友好会は、その後45年走り続け、この20日には358回目を迎えます。2月と8月はお休みですので、10月迄あと7回走れば365回、それも私が卒寿を迎える10月になります。これを是非達成し誰にとはなく“人生の一年間は毎日ゴルフやってたんだ”と言って見たいのです。
勝手な新年に思うで済みませんでした。

あと何も挿絵がないと寂しいので、筆ぐるめからのお手製の賀状を載せさせて頂きました。北陸地方が大変なのに 寿いでる場合ではないだろうとお叱り受けそうですが、この賀状は12月24日投函、1日午前中には役目を終えてますので、どうかご了解下さい。

今年は 皆さんにも頑張ってもらい、無事卒寿を迎えて頂く様 お願い致します。



令和6年1月17日

(完)